

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(1)政策	コード	名称
	9	(4)自然と共生するうおいあるまちづくり

(5)評価責任者職名	生活環境部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	浅井 広太
------------	-------

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	19	空気がきれいで静かであり、豊かな自然の中で暮らせる
	19	①自然と共生する、住みよいまちをつくる			

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標) 指標の数値	1次評価結果									
					H19 決算額	H20 予算額・補 正要求額	H21 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17)指標の単位				(18) 評価 類型	(23) 総合 評価	(24) 方向性
														(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性			

2次評価										(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度区 分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて			

継続	187	環境保全対策事業	100300	環境センター	858	1,528	1,528	0.2	1,440	適合率(適合 検体数/総検 体数)×100	98.20	100	%	I	4	4	3	4	A	現状維持
継続	181-3	環境保全活動推進事業	100200	生活環境部環 境政策課	1,318	1,030	1,030	0.8	5,760	環境フェスタ 秋の入場者数	2,000	300	人	I	2	3	4	2	C	現状維持

有	達成度を4に	事業の実施において は達成	有	生活課題に対応する検 体の追加・削減を検討 する	2G	b	
有	方向性を「変更」に	改善の取り組みから は変更との記載が良	無		3G	d	自治協議会と市民会 議の役割分担を整理 基本施策貢献の有効 性を高める